

# 尚絅がわかる2日間

2012.7/21土→22日  
詳しくはWEBで!! 尚絅学園 検索

申込不要

## 尚絅大学／尚絅大学短期大学部 オープンキャンパス

2012.7/21土 7/22日

### 主な内容

- 学部・学科・コース紹介
- キャンパスツアー
- 模擬授業など

### 8月以降のオープンキャンパス

2012.8/4土 11/24土

(学園祭と同時開催)



## 尚絅高等学校／尚絅中学校 体験入学

尚絅高等学校 2012.7/21土



尚絅中学校 2012.7/22日



※詳細についてのお問い合わせ先

尚絅大学・尚絅大学短期大学部入試センター  
TEL 096-338-8840(代)

尚絅高等学校／尚絅中学校  
TEL 096-366-0295

## 後塞

平成23年3月11日午後2時46分、あの日のことを私たちは忘れる事は出来ない。テレビで見た衝撃的な映像、今でも目に焼き付いている。あれから1年、日本の状況は激しく変わった。

1月にある講演で、東日本大震災で天皇皇后両陛下が被災地を訪れた時の印象深い話を聞いた。津波で自宅が流されたという女性は、両陛下の訪問のお礼にと、津波を浴びても花を咲かせたという自宅跡地のスイセンを花束にし、「このスイセンのように頑張ります」と言って皇后さまに手渡した。長い困難な避難生活、心がめげそうな日々、スイセンは決して根が深いわけでもないのに、そういう時に心が洗われるようなスイセンの花が凛と咲いていたそうである。皇后さまが平成7年の阪神・淡路大震災のお見舞いで皇居で摘んだスイセンを焼け跡に手向けられていたことを、その女性は知っていた。皇后様は、東北の被災地から自衛隊機で帰京する際には、自ら花束を持たれていた。

初夏に入り、もうすぐ紫陽花が大輪の花を咲かせる。花は私たちの心を慰め励ましてくれる。

スイセンは被災地の方々に元気を与えた。女性も困難な立場でありながら、復興の象徴と知っていた“スイセン”に思いを込めた。皇后さまも、人を思いやり、花に託された被災者の心をしっかりと受け止められた。私たちもスイセンの花のように勇気と希望を与えられているだろうか。スイセンの花言葉のようにこれからもずっと「愛に応えて」いきたい。(T・M)

○皆様のご意見・ご感想をお寄せください。編集・発行 尚絅学園 編集スタッフ 黒瀬英夫 長谷川新吾 古澤千鶴 松野多恵子 村上 悠 川上沙織  
〒862-8678 熊本市中央区九品寺2丁目6-78 TEL 096-364-0116 FAX 096-363-6520 メールアドレス koho@shokei-gakuen.ac.jp



尚絅学園は、平成25年に創立125周年を迎えます。